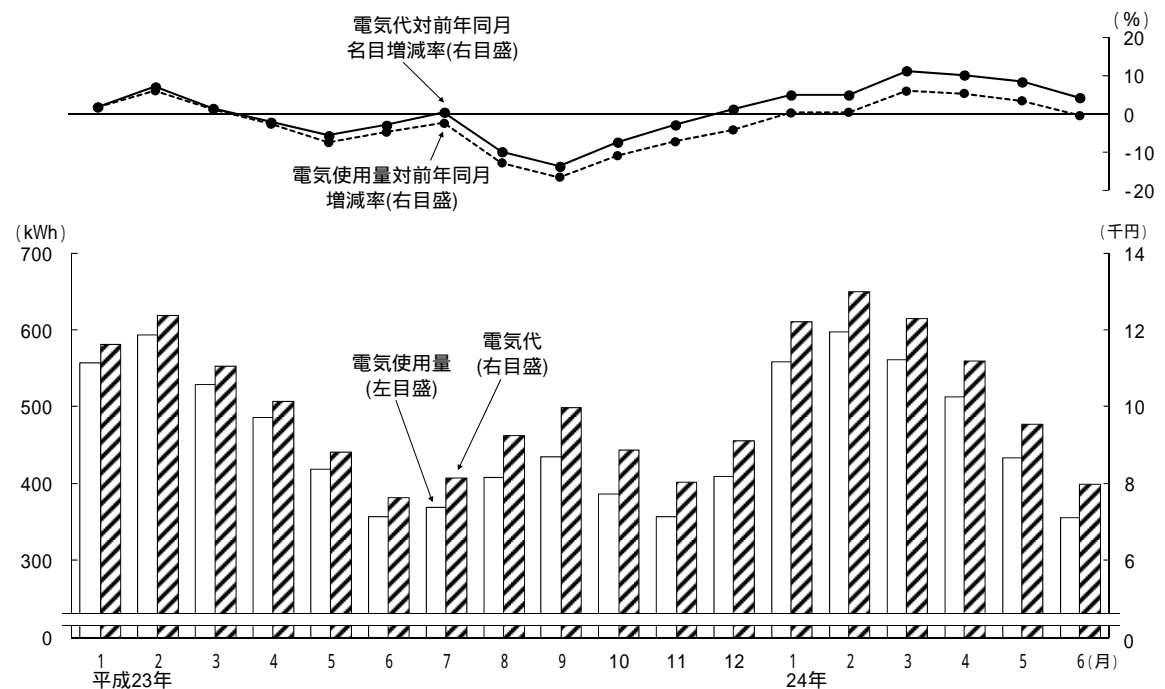


平成 24 年 7 月 31 日
総 務 省 統 計 局

全国の電気使用量及び電気代の推移

平成 24 年 6 月の 1 世帯当たりの電気使用量は、前年同月に比べ 0.4% の減少となっている。
一方、支出金額をみると、電力各社による電気料金の値上げもあり、1 世帯当たりの電気代は、
前年同月に比べ名目 4.3% の増加となっている。

図表 全国の電気使用量及び電気代の推移



1世帯当たり電気使用量(kWh)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成23年	557.063	593.888	529.426	486.233	418.946	356.683	369.133	408.426	434.528	386.198	356.710	409.280
平成24年	558.633	596.906	561.377	512.439	433.403	355.084						

対前年同月増減率(%)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成23年	1.7	6.1	1.2	-2.6	-7.4	-4.7	-2.4	-12.7	-16.4	-10.8	-7.2	-4.1
平成24年	0.3	0.5	6.0	5.4	3.5	-0.4						

1世帯当たり電気代(円)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成23年	11,622	12,369	11,045	10,152	8,824	7,644	8,163	9,262	9,969	8,886	8,041	9,114
平成24年	12,206	12,986	12,291	11,192	9,561	7,975						

対前年同月名目増減率(%)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成23年	1.9	7.1	1.5	-2.1	-5.6	-2.9	0.5	-9.8	-13.6	-7.3	-2.8	1.3
平成24年	5.0	5.0	11.3	10.2	8.4	4.3						

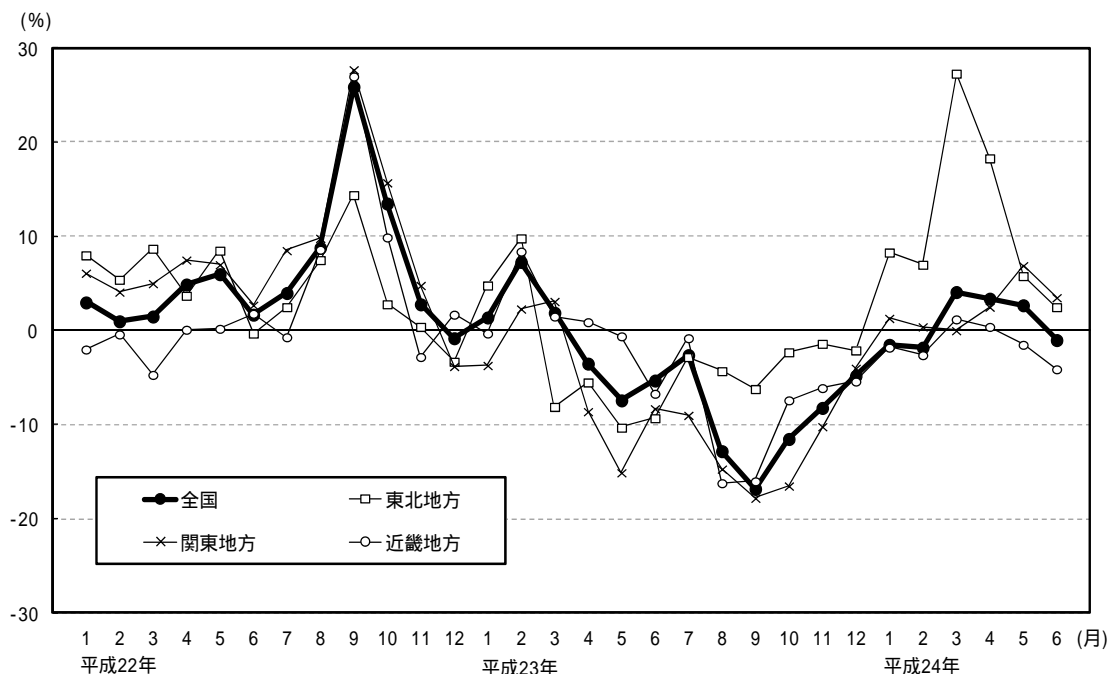
注) 家計調査では、電気代等の支払金額及び使用量については、請求やメーターの検針があった日ではなく、調査世帯が実際に支払った日(口座振替の場合は口座振替日)に家計簿に記入される。したがって、利用(購入)月と支払月に違いがあるため、月次の変化をみる際は注意が必要である。

平成 24 年 7 月 31 日
総務省統計局

地方別にみた電気代の推移

1 世帯当たりの電気代の対前年同月実質増減率をみると、平成 23 年 3 月の東日本大震災以降、家庭での節電などを背景として、全国的に減少傾向にあった。平成 24 年以降は寒波の影響や東日本大震災後の節電の反動もあり増加傾向となっていたものの、平成 24 年 6 月は全国で 1.0% の減少となっている。地方別にみると、東北地方で 2.5%、関東地方で 3.5% の増加となっている一方で、近畿地方では 4.1% の減少となっている。

図 地方別にみた電気代の対前年同月実質増減率の推移



注) 家計調査では、電気代等の支払金額については、請求やメーターの検針があった日ではなく、調査世帯が実際に支払った日(口座振替の場合は口座振替日)に家計簿に記入される。したがって、利用(購入)月と支払月に違いがあるため、月次の変化をみる際は注意が必要である。また、実質化には消費者物価指数(電気代)の地方別の結果を用いた。